

自衛隊横須賀病院で救急救命士の合同実習を実施



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木功順 3等陸佐）は10月4日（金）、横須賀市にある自衛隊横須賀病院で行われた湘南医療福祉専門学校救急救命科2年生の体験実習を支援しました。

今回、救急救命士を目指す専門学生と自衛官とが合同実習を行った自衛隊横須賀病院教育部救急救命士養成所は、約2年間の海曹士衛生課程教育で准看護師の資格を取得した後、部隊で1年以上の勤務を経験した衛生員が救急救命士免許を取得するための教育機関です。

3種類の搬送具を用いた実習では、一般的な担架とは違い、狭い艦艇内では「はしご」のような急な階段を使用して患者を運搬することを想定した固定型の搬送具や、スリンググロブでヘリコプターに吊り上げるタイプの担架の使用などを体験しました。

意見交換会も行い、「人を助けることを仕事にしたい」という共通の志をお互いに再認識しました。参加した専門学生は、自衛官の「責任感にやりがいを感じる」という話を聞いてとても惹かれた」と笑顔で話してくれました。

上大岡募集案内所は、「今後も学校等と連携した広報活動を行い、自衛隊への理解と共感を深め、自衛隊を職業の選択肢として認知していただけるよう取り組んでいきたい」としています。

